

新刊案内

今、木津家二百年の歩みが明らかにされる――



木津宗詮 武者小路千家とともに 木津宗詮 著

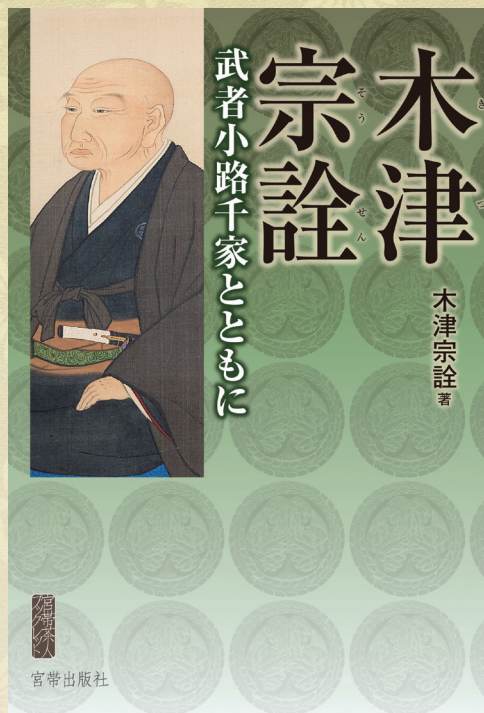
挿図
170
点

11月下旬刊

木津宗詮（きづそうせん）プロフィール

1962年和歌山県生まれ。大江崇之。立命館大学文学部中国文学科卒業。武者小路千家 家元教授。木津家後嗣 宗隆を経て、2013年七代宗詮を襲名。斎号 桜斎。著書に、『千一翁宗守——宗旦の子に生まれて』（茶人叢書、宮帯出版社、2013年）『三徳庵茶道文化学術奨励賞（受賞）』がある。

武者小路千家の歴代、松平不昧、紀州藩主徳川治宝、貞明皇后（大正天皇皇后）、平瀬露香、跡見花蹊など、多くの人々に支えられて今日まで連綿と続いてきた茶家、木津家の家史が今明らかにされる。特に、茶室の設計や作庭において特筆すべき業績を遺していることはあまり知られていない。当代ト深庵 木津宗詮が渾身の思いを込めて二百年の歩みを語る。



名：木津宗詮 武者小路千家とともに
著者：木津宗詮
判型：四六判・並製
頁数：本文 296 頁・口絵 16 頁
定価：本体 2,000 円＋税

はじめに

第一章 松斎宗詮

願泉寺／江戸下向と松平不昧／武者小路千家入門／平瀬家／紀州家仕官／参禅の師、大綱宗彦／利休二百五十年忌遠忌法要・追善茶事／此中斎の後見／茶室の建築・作庭／門人たち

木津家関連系図 1

第二章 得浅斎

生い立ち／茶の湯修業／一指斎の後見／紀州家仕官／得浅斎の茶事／跡見花蹊／得浅斎の家族／維新後の得浅斎／得浅斎の門人たち／艸人木を拈ず

第三章 聿斎

東京遊学と茶の湯修業／平瀬露香・露秀との親交／大徳寺参禅／迫間房太郎・山中定次郎との親交／愈好斎と官休庵復旧／戸田露朝・露綏との親交／出版活動／貞明皇后の秋泉御茶室の設計／晩年の聿斎／茶臘三十年

木津家関連系図 2

第四章 花笑斎と柳斎

花笑斎／柳斎

木津宗詮設計茶室・庭園

木津家略年譜

参考文献

おわりに

最寄りの大型書店、または弊社までご注文ください

●お問い合わせは

株式会社 宮帯出版社

〒602-8488 京都市上京区真倉町 739-1 www.miyaobi.com

TEL. (075) 441-7747 FAX. (075) 431-8877